

別子銅山の歴史学んで

新居浜南高生 児童ら向けツアー

別子銅山(新居浜市) 創系列やユネスコ部の歴史や公害克服の歩み学ぶツアーが25日あり、市内の小学生ら約20人が産業遺産などを訪れ、理解を深めた。新居浜南高校地域共



日暮別邸記念館を見学する子どもたち

制度「あかがねラークー ション」を活用した。参加者は、銅を取り出す際に発生する亜硫酸ガスによる煙害問題で市内から製錬所が移転された四阪島(今治市宮窪町)周辺を船で訪れて製錬所、小学校跡などを海から眺めた。クルージング前には、島から新居浜市王子町に移された住友家の邸宅・日暮別邸記念館などを見学した。

各所で、新居浜南高生16人や住友金属鉱山別子事業所の山下佳苗さんが、歴史を解説した。別子銅山では運搬用の鉄道や削岩機などを導入し、近代化を進めた経緯を紹介。煙害

問題は四阪島に製錬所が移っても続き、亜硫酸ガスを利用した化学肥料の製造や中和工場の建設で約50年かけて解決したと説明した。中秋小学校6年の神野紘歩さん(11)は「現在リサイクル事業を行う四阪島の工場が今も動いていることに驚いた」、父親の大成さん(49)は「実際に建物や資料を見ながら学べてよかった」と話した。

新居浜南高3年の河中龍星さん(17)は「ツアーをきっかけに別子銅山に興味をもってほしい」と期待していた。

(小沢涼乃)

【紙面編集】尾上芽吹

「別子銅山の歴史学んで 新居浜南高生児童ら向けツアー」

2026 年 9 月 27 日付愛媛新聞 (掲載許可番号 : d 20260928-05)